土壌物理性・化学性分析メニューシート（割引セット）

区分	メニューNo.		分析項目	税抜料金単価（円）	税込料金単価（円）	割引メニューの対象項目																						備考
						仮比重	炭素全量	腐植	窒素全量	リン酸吸収係数	陽イオン交換容量	pH（H2O）	EC	アンモニア態窒素	硝酸態窒素	有効態リン酸	交換性カリ	交換性石灰	交換性苦土	有効態ケイ酸	可給態鉄	遊離酸化鉄	水溶性ホウ素	交換性マンガン	可溶性亜鉛	可溶性銅	可給態硫黄	作物体硫黄	かんがい水の硫黄	
土壌調製	S	1000	土壌調製（畑）	1,000	1,100																									
		1001	土壌調製（水田）	2,000	2,200																									
割引メニュー	S	1100	土壌化学性主要全項目＋鉄亜鉛銅（畑）	21,500	23,650	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○				
		1101	土壌化学性主要全項目＋鉄亜鉛銅（水田）	22,500	24,750	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				ケイ酸リン酸緩衝液法
		1111	土壌化学性主要全項目（畑）	12,500	13,750	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○						
		1120	土壌化学性主要全項目（水田）	13,500	14,850	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○						ケイ酸リン酸緩衝液法
		1210	土壌化学性標準項目（畑）	9,500	10,450			○				○	○	○	○	○	○	○	○											標準分析項目
		1211	土壌化学性標準項目（畑、水田共通）	10,500	11,550			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○										標準分析項目,ケイ酸リン酸緩衝液法
		1311	リン酸、カリセット	4,000	4,400											○	○													リン酸・カリの減肥検討用
		1320	水稲硫黄欠乏診断簡易分析セット	8,500	9,350																						○	○		0.01Mリン酸二水素カルシウム溶液による
		1321	水稲硫黄欠乏診断フル分析セット	10,500	11,550																						○	○	○	

土壌物理性・化学性分析メニューシート（個別分析）

区分	メニューNo.		分析項目	税抜料金単価（円）	税込料金単価（円）	備考
土壌調製	S	1000	土壌調製（畑）	1,000	1,100	
		1001	土壌調製（水田）	2,000	2,200	
個別メニュー	S	2110	土壌物理性　仮比重	3,000	3,300	容積密度、土づくり資材の投入量に関係する
	S	2120	土壌物理性　飽和透水係数	5,400	5,940	水の排水性
	S	2130	土壌物理性　最大容水量	3,600	3,960	
	S	2140	土壌物理性　土性（簡易法）	3,600	3,960	土壌種類を触診で判断（砂壌土など）
	S	2141	土壌物理性　土性（ピペット法）	15,000	16,500	精密法、粒径区分にもとづく（砂壌土など）
	S	2150	土壌物理性　水分（風乾土）	1,500	1,650	
	S	2210	土壌化学性　炭素全量	3,500	3,850	炭素/窒素比のひとつ、腐植に換算できる
	S	2230	土壌化学性　腐植	4,000	4,400	土壌肥沃度のひとつ、可給態窒素と関係がある
	S	2240	土壌化学性　腐植酸	6,900	7,590	腐植のうち酸、アルカリに溶けるもの
	S	2250	土壌化学性　窒素全量（燃焼法）	3,500	3,850	炭素/窒素比のひとつ
	S	2251	土壌化学性　窒素全量（ケルダール法）	5,000	5,500	
	S	2260	土壌化学性　リン酸吸収係数	3,500	3,850	土壌のリン酸固定力
	S	2270	土壌化学性　陽イオン交換容量(CEC)	6,000	6,600	CEC、石灰・苦土・カリ飽和度算出に必須
	S	2280	土壌化学性　ｐＨ（H_2O）	1,500	1,650	酸性、中性、アルカリ性を示す基本分析項目
	S	2281	土壌化学性　ｐＨ（KCl）	1,500	1,650	Alイオンの潜酸性を考慮したｐＨ
	S	2290	土壌化学性　ＥＣ	1,500	1,650	電気伝導度、土壌塩類
	S	2300	アンモニア態窒素	3,000	3,300	窒素の速効性成分
	S	2310	硝酸態窒素	3,000	3,300	窒素の速効性成分
	S	2320	可給態窒素（リン酸緩衝液法）	4,500	4,950	地力窒素、現在の利用例は少ない
	S	2321	可給態窒素（保温静置法）	5,500	6,050	いわゆる地力窒素、標準法
	S	2322	可給態窒素（簡易迅速法）　畑	4,000	4,400	いわゆる地力窒素、農研機構開発
	S	2323	可給態窒素（簡易迅速法）　水田	4,000	4,400	いわゆる地力窒素、農研機構開発
	S	2330	リン酸全量	4,000	4,400	
	S	2340	有効態リン酸（トルオーグ法）	3,000	3,300	トルオーグ法、標準法
	S	2350	有効態リン酸（ブレイ№2法）	3,000	3,300	ブレイNo.２法、希望時のみ実施
	S	2360	カリ全量	4,000	4,400	
	S	2370	交換性カリ	3,000	3,300	土壌改良成分のひとつ
	S	2380	石灰全量	4,000	4,400	
	S	2390	交換性石灰	3,000	3,300	土壌改良成分のひとつ
	S	2410	苦土全量	4,000	4,400	
	S	2420	交換性苦土	3,000	3,300	土壌改良成分のひとつ
	S	2430	ナトリウム全量	4,000	4,400	海水の影響等で評価
	S	2440	交換性ナトリウム	3,000	3,300	交換性であるが土壌診断には通常用いない
	S	2450	ケイ酸全量	10,000	11,000	土壌構成の主成分、農地土壌診断には用いない
	S	2460	有効態ケイ酸（酢酸緩衝液法）	4,500	4,950	酢酸緩衝液法
	S	2461	有効態ケイ酸（湛水保温静置法）	5,500	6,050	湛水保温静置法
	S	2462	有効態ケイ酸（リン酸緩衝液法）	5,000	5,500	ｐＨ7.0　リン酸緩衝液法、酢酸緩衝液代替標準
	S	2470	可給態鉄	3,000	3,300	畑土壌が対象
	S	2480	遊離酸化鉄	3,000	3,300	水田土壌が対象
	S	2490	熱水抽出性ホウ素	4,000	4,400	植物が利用する成分評価法のひとつ
	S	2510	マンガン全量	10,000	11,000	
	S	2520	交換性マンガン	3,000	3,300	植物が利用する成分評価法のひとつ
	S	2530	亜鉛全量	3,500	3,850	農用地の蓄積防止管理基準対象
	S	2540	可溶性亜鉛	3,000	3,300	植物が利用する成分評価法、0.1M塩酸可溶
	S	2550	銅全量	4,000	4,400	植物が利用する成分評価法のひとつ
	S	2560	可溶性銅	3,000	3,300	農用地（田に限る）汚染対策対象
	S	2570	可給態硫黄	6,500	7,150	作物体、かんがい水での硫黄メニューあり
	S	2580	水溶性塩素	6,000	6,600	海水のNaClの成分
	S	2590	アルミニウム全量	10,000	11,000	土壌構成の主成分、農地土壌診断には用いない
	S	2610	カドミウム全量	6,000	6,600	土壌含有量基準対象
	S	2620	可溶性カドミウム	6,000	6,600	土壌汚染防止法
	S	2630	クロム全量	6,000	6,600	六価クロムは土壌含有量基準対象
	S	2640	コバルト全量	7,000	7,700	ビタミン12の構成要素
	S	2650	ニッケル全量	6,000	6,600	植物の必須元素であるが通常分析しない
	S	2660	交換性ニッケル	3,000	3,300	
	S	2670	モリブデン全量	10,000	11,000	飼料での含有量は家畜に負に作用する
	S	2680	可給態モリブデン	6,300	6,930	
	S	2690	鉛全量	6,000	6,600	土壌含有量基準対象
	S	2710	チタン全量	6,500	7,150	肥料の制限元素のひとつ
	S	2720	セレン全量	7,000	7,700	土壌含有量基準対象
	S	2730	水銀全量	7,500	8,250	土壌含有量基準対象
	S	2740	ヒ素全量	7,000	7,700	土壌含有量基準対象